

ほうれんそうを加害するウリハムシモドキおよび ネギアザミウマに対する数種殺虫剤の防除効果

【1 成果の概要】

- ウリハムシモドキ
 - 1) 被害の特徴：成虫が葉に円形の食痕をつけて食害します（図1）。
 - 2) 薬剤防除効果：スタークル顆粒水溶剤（アルバリン顆粒水溶剤）、アクタラ顆粒水溶剤、アドマイヤーフロアブルの3剤に防除効果があります。
- ネギアザミウマ
 - 1) 被害の特徴：成幼虫が新葉を食害し、かすり症状や奇形をもたらします（図2）。
 - 2) 薬剤防除効果：ディアナSC、スピノエース顆粒水和剤の防除効果が高く、アドマイヤーフロアブルは一定の防除効果が認められます。



左:ウリハムシモドキ
成虫(体長 6mm)

右:被害状況
(葉に円形の食痕を
つけて食害)

図1. ウリハムシモドキとほうれんそう被害



左:ネギアザミウマ
成虫(体長 1mm 前後)

中央・右:被害状況
(新葉を食害し、展
葉後に黄色のかすり
症状や奇形をも
たらす)

図2. ネギアザミウマとほうれんそう被害

【2 効果】

- 適切な防除対策により、安定生産に寄与します。

【3 留意事項】

- (1) ウリハムシモドキは年1回の発生とされ、マメ科牧草をはじめ多くの植物を加害します。また、本種によるほうれんそう被害は主に7月に発生します。
- (2) 農薬を適切に使用いただくため、「平成29年度試験研究成果」もあわせてご覧ください。

【4 適応対象】

- (1) 地帯 県内全域
- (2) 対象者 営農指導者（農業普及員等）

担当研究室 県北農業研究所 園芸研究室

〒028-6222 軽米町山内 23-9-1 TEL. 0195-47-1074 FAX. 0195-49-3011